

第1号様式(第4条関係)

年 月 日

青森県知事

殿

青森県収入証紙 貼 付

申請者 住所

法人にあつては、主たる事務所の所在地

(電話番号)

氏名

法人にあつては、名称及び代表者の氏名

年 月 日生

公衆浴場営業許可申請書

公衆浴場法第2条第1項の規定による公衆浴場営業の許可を受けたいので、公衆浴場法施行規則第1条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

名 称		
所 在 地	(電話番号)	
	譲り受けた公衆浴場営業の以下の事項に変更がありません。	
種 類		<input type="checkbox"/>
構 造 設 備	別紙のとおり	<input type="checkbox"/>
公衆浴場営業の譲渡	上記に係る公衆浴場営業を上記の申請者に譲り渡しました。 (譲渡人の署名)	
備 考		

添付書類

- 次に掲げる書類。ただし、公衆浴場営業を譲り受けた者が当該公衆浴場営業に係るこの申請書を提出する場合にあつては、その添付を省略することができる。
 - 営業施設の構造設備の仕様書
 - 営業施設の配置図、平面図及び断面図（縮尺200分の1以上）
 - 測量士又は測量士補が作成した最寄りの公衆浴場との距離実測図（縮尺1000分の1以上）
- 申請者が法人である場合にあつては、定款又は寄附行為の写し
- 公衆浴場営業を譲り受けた者が当該公衆浴場営業に係るこの申請書を提出する場合（「公衆浴場営業の譲渡」欄に譲渡人が署名した場合を除く。）にあつては、当該公衆浴場営業を譲り受けたことを証する書類

- 注 1 次に掲げる欄の記載は、公衆浴場営業を譲り受けた者が当該公衆浴場営業に係るこの申請書を提出する場合であつて既に知事に提出されている公衆浴場営業許可申請書の記載事項に変更がないときは、□にレ印を記入することをもつて足りる。
- (1) 種類
 - (2) 構造設備
- 2 1により「構造設備」欄の□にレ印を記入した場合にあつては、別紙の添付を省略することができる。
- 3 「種類」欄には、温泉の含有物質又は医薬品等を原料とした薬湯を使用する公衆浴場にあつては、その物質又は医薬品等の名称、成分、用法、用量及び効能を記載すること。
- 4 用紙の大きさは、日本産業規格A 4縦長とする。

構 造 設 備

面 積		敷地面積 m ²			建築面積 m ²			延べ面積 m ²	
建物の構造		木造、コンクリートブロック造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造 その他() 階建							
区分	脱衣室				水飲み場の場所	洗面設備の場所	便 所		
	床面積	換気方法	照 明	保温方法			便 器 数	種 類	
男	m ²		ルクス				大 小	個 個	水洗式(下水道・浄化槽)・くみ取り式
女	m ²		ルクス				大 小	個 個	
区分	浴 室 等								
		洗 い 場	一般浴槽	サウナ室	露天風呂	家族風呂	砂、おがくず等	附帯脱衣室	
男	個 数(室 数)								
	面 積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
	換 気 方 法								
	照 明	ルクス		ルクス	ルクス	ルクス	ルクス	ルクス	ルクス
	保 温 方 法								
	深 さ		m		m	m	m	m	
	浴 槽 の 形 態								
1 上 縁 の 高 さ		1 m		1 m	1 m	1 m			
2 浴槽と給水栓との最短距離		2 m		2 m	2 m	2 m			
3 常時いつ水する状態		3		3	3	3			
女	個 数(室 数)								
	面 積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
	換 気 方 法								
	照 明	ルクス		ルクス	ルクス	ルクス	ルクス	ルクス	ルクス
	保 温 方 法								
	深 さ		m		m	m	m	m	
	浴 槽 の 形 態								
1 上 縁 の 高 さ		1 m		1 m	1 m	1 m			
2 浴槽と給水栓との最短距離		2 m		2 m	2 m	2 m			
3 常時いつ水する状態		3		3	3	3			
区分	使用水(水道水、井戸水等の別)			その他の附帯施設			排 水		
	浴槽水	上がり用水	飲料水	休 憩 室	娛 楽 室	そ の 他	公共下水道 公共排水路 道路側溝 河川 その他()		
種類			和 洋 室	和 洋 室	和 洋 室 ()				
面積				男 m ² 女 m ²	男 m ² 女 m ²	男 m ² 女 m ²			
備考									

- 注1 家族風呂については、男女のいずれかの欄に記入すれば足りる。
- 2 附帯施設としてサウナ室等を設ける場合も浴室等の欄に記入すること。
- 3 照明は、床面での明るさを記入すること。
- 4 保温方法は、暖房機器の有無その他特に保温に対して配慮すること(二重窓等)があれば記入すること。
- 5 浴室等の面積は、複数ある場合は合計面積を記入すること。
- 6 附帯脱衣室の欄には、浴室ごとに複数の脱衣室を設ける場合に記入すること。
- 7 浴槽の形態の欄は、3に該当する場合は3を○で囲み、1及び2の記入を要しない。
- 8 その他の附帯施設のその他の欄の()には、施設の種類を記入すること。
- 9 その他の附帯施設に運動機器、ゲーム機器等を設置する場合は、備考欄にその種類及び台数を記入すること。
- 10 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。